

(1) 学習のねらい

(2) 本時の学習材

- 輸入の善し悪しについて一概に判断は出来ず、様々な立場の人がいる事を知り、その立場によって善し悪しが変わるということを理解したところでこの学習材を提示する。
- 本学習材は天ぷらそばをめぐる様々な立場の人の証言を集めた資料である。証言は消費者・生産者・そば屋・政府とする。この学習材を提示することによって子ども達が輸入をめぐる様々な立場がいるということを理解することが期待される。

過程	学 習 活 動	予想される子どもの動き	時間	指 導 と 評 価
課題把握	1 前時の活動を振り返る。輸入が良いことか、悪いことか、自分の考えを発表してもらう。	・輸入が増えると日本の農家がいなくなってしまうよ。 ・輸入品の方が安いよね。 学習問題 食料輸入の利点と欠点は何だろう。 ・価格が安いっていうのは利点だね。 ・日本の農家が衰退してしまうのは欠点じゃないかな。 ・輸入をやめちゃうとお肉は9日に1回しか食べられなくなるんだね。	15'	○ 前回の課題（輸入の善し悪しについて考える）について子どもの考えを聞く。 ○ 子どもが出した意見について、それが利点なのか欠点なのか考える。 ○ 利点と欠点を裏付ける様々な資料を用意しておく。（パワポや動画） ○ 学習材を提示する。
展開	学習課題 様々な人の立場に立って考えてみよう。		20'	学習材 様々な立場の人の声 ○ 輸入が利点なのか欠点なのかは立場によって異なることを明らかにする。 ○ 様々な立場の資料を用意しておく。 ○ それぞれの立場の予想を
	2 天ぷらそばをめぐり、様々な人の立場になって考える。	・そば屋の人の立場って難しいなあ。 ・消費者にも色々なタイプがいるよね。 ・生産者は困るんじゃないかな。		

終 末	3 活 動 を 振 り 返 る。	・政府は食料自給率を上げよう としているよね。 ・輸入をすると困る人もいれば 助かる人もいるんだね。	5'	聞く。 ・ノートに振り返りを書く。 (①様々な立場の人がいる ことを知り、感じたこと。) 評価 ノートの振り返りから、 様々な立場の人がいる ことを理解しているか。
--------	---------------------	---	----	--